

2025 年 4 月 4 日
No. 2025-002

スエズマックスタンカー “AESOP” 引渡

ジャパン マリンユナイテッド株式会社(本社：神奈川県横浜市、社長：廣瀬 崇)は、4月4日(金)、津事業所(三重県津市)にて AMBROISIE SHIPPING LTD 向けに建造していたスエズマックスタンカー “AESOP” (イソップ) を引渡しました。

津事業所では、スエズマックスタンカーのトレードにおける世界の主要な港湾の入港条件及び現在主流のマーケット要求を踏まえた最適船型の豊富な建造実績があります。本船は、従来建造船から燃費をさらに向上させた新開発船の1番船となります。EEDI Phase 3 及び NOx Tier III 適用はもとより、SOx スクラバーを搭載し、環境に配慮した仕様となっています。

弊社が長年に亘って蓄積したタンカー開発のノウハウ及び最新鋭の技術を結集した、省エネ・環境負荷低減型の次世代スエズマックスタンカーです。

【主要目】

主要寸法	：	全長 274.30m x 幅 48.00 m x 深さ 23.15 m
総トン数	：	83,175
載貨重量	：	158,954 トン
航海速力	：	14.5 ノット
主機関	：	Mitsui MAN-B&W 7S60ME-C10.6-EGRBP
定員	：	28 名
船級	：	DNV
船籍	：	バハマ

【特長】

- 最新の解析技術により推進効率を最大限に追求した船型を開発し、併せて、弊社独自の省エネデバイスである省エネ装置 “Super Stream Duct®”、“SURF-BULB®”、“ALV-Fin®” の搭載・最適化、及び高効率プロペラの採用により、従来船に比べて、大幅な推進性能の向上及び燃費削減を達成しています。
- 平水中性能だけでなく、波浪中の船首抵抗の低減のための “Ax-Bow®” 適用及び新騒音規則にも配慮した低風圧居住区の採用により、実海域性能を向上させています。
- その他、電子制御エンジンの採用、バラスト水処理装置の装備、有害物質一覧表の保持、NOx Tier III 排出規制に適合するなど、環境規制に対応しています。
- 外板には低摩擦塗料を適用。また貨物油タンク及びバラストタンクの塗装に関しては、IMO PSPC 規則に則り、防食性能を向上させています。

弊社は今後も、経済性・環境性に優れた最新鋭の船舶の開発・建造に努めてまいります。

